GHCHてつなぎ荘事業　平成26年度事業報告(案)

1. 運営状況　　＊入居定員及び入居人数及び動向　　平成27年4月1日

てつなぎ荘　定員7名　満室

てつなぎ抱夢　定員5名　満室

共生型ほんわかホーム　定員5名(給付対象　5名)
:高齢者用居室が空室(現在、道に有料ホームの申請中)

＊短期入所事業

てつなぎ荘にて実施　定員1名　随時利用

＊給付対象外事業
:てつなぎ荘(ほんわか含)空室利用にて短期入所受入れ事業
実費負担にて利用可(1食300円・1泊2000円)

2. サービス実績

開所日数:　365日のべ利用人数　　GH　6,205人
短期　240人

避難訓練:　年2回実施　(災害想定　1回　・夜間想定　1回)

主体業務:　宿直・夜勤・入浴介助・食事提供・掃除・各種更新(申請)手続き代行

3. 重点課題考査

①　職員間の連携強化及びサービスの向上を計る

評価:　週1回　月曜開催(年間24回実施)、各種勉強会、情報共有を行った。
情報や細かいニーズの取りこぼしの改善が行えた。
ミーティングに終始したため研修開催が少なくなってしまった。

②　当事者へのサービスの質の向上

評価:　余暇支援を拡充し、更なるニーズに答えていくことで質の向上を計る。
毎月　1回(年6回実施・買い物・小観光を行う)

③　収益向上をはかる(経費削減を含む)

米の仕入単価を購入できる最低に変更した。(10kg2340円)
電気をLEDに随時換装している。

4. 今後の課題

① 未収金管理を行う　⇒　対象者の経済的問題を考慮し無理のない返済計画にする。
:請求と支払いの帳簿管理を行い、未収金を出さないシステムにする。

② 各種研修の充実　⇒　虐待防止法及び先日の下関の事件を踏まえ検討検証を実施。
:制度や法令理解を高めて、対応能力を高める必要がある。

③ 重点課題に挙げた項目は今後も継続していく。